２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

渉外交流委員会　委員長　加藤　裕之

乙訓青年会議所は、公益社団法人格を取得し新たなる組織として次代への一歩を踏み出しました。公益な団体として地域からの負託と信頼に応える為にも、地域を魅了する団体として在らねばなりません。苦しい時も楽しむ心を見出せる魅力のある組織として一致団結し活動する事が必要です。

今日まで明るい豊かな社会の実現に向けて活動してこられた先輩諸兄の貴重な教えや経験を、入会年数に拘わらずメンバー一人ひとりが伝承すると共に、気概を持ち青年会議所の活動意義を理解して行動する事が重要です。同じ志を持ち活動する事で強い絆が生まれ、より良い運動が出来ると考えます。

本年度、渉外交流委員会では様々な事業参加の中で、メンバーが励まし競い合いお互いを成長させる事によって真の友情を育み、更に魅力のある組織となる為の活動を実施致します。例会や事業だけで無く、懇親会も青年会議所活動の学びの場として捉え行います。１月例会・新春交歓会では、本年度の方向性を出席者全員に理解して頂くと共に、行政関係者、特別会員、他ＬＯＭの皆様と挨拶を交わし親睦を図ります。その為に、現役メンバー全員の協力を頂き、乙訓（まち）を魅了する誇り高き集団として活動していく事をお伝えする場と致します。５月例会では、京都ブロック会員大会日に開催地である八幡の地に於いて開催致します。京都ブロック会員大会にも参加し、共に歩を進める同志との友情を構築致します。会員交流会では、メンバー同士のより一層の親睦を深める場と致します。１２月卒業式では、卒業生の青年会議所活動における功績を讃えて新たな旅立ちをお祝いする心に響く設えを致します。忘年会では、メンバーが１年間活動してきた労をねぎらい、次年度に繋げて頂く事業を開催致します。また、年間を通じて現役会員と特別会員との親睦が深まるようにサポート致します。渉外活動では、ＪＣＩ、公益社団法人日本青年会議所、近畿地区協議会、京都ブロック協議会、各地青年会議所に関する各種案内、登録手続きを迅速かつ正確に行い、メンバーに多くの学びの機会が得られるように適切に処理を行います。また、出向者支援を行い、活発に活動して頂けるように出向者のサポートを行います。そして、ＪＣ伝承委員会と連携し一人でも多くの同志が出来るように会員拡大活動にも積極的に携わり、まちづくり事業や青少年育成事業にも積極的に協力し参加致します。

結びに、一年間を通して渉外交流委員会は、自らが率先して行動し各事業に参加して交流を図ります。メンバー同士が互いを尊重し、助け合う精神を持ち、時には戒め、何事にも挑戦し様々な活動を通して信頼を築き、真の友情が芽生えるように活動致します。まず、私自身が能動者となり強い意志と自覚と情熱を持ち、乙訓青年会議所の一員であることに誇りを抱き行動致します。まず動く、そして遣り遂げる。その姿が委員会メンバーに伝播し、ひいては乙訓青年会議所の組織としての一致団結に繋がると確信します。